

2016年11月22日

野村アセットマネジメント株式会社

【ご参考資料】



「グローバル・ストック 愛称:世界樹」の 米大統領選の結果を受けた投資環境と運用方針について

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「グローバル・ストック 愛称:世界樹」(以下、ファンド)において、米国の大統領選挙の結果を受けた投資環境と基準価額の動きについてお伝えいたします。加えて、ファンドの投資対象である外国投資信託の運用を担う各マネージャー(運用会社)が考える市場見通しと運用方針についてご紹介いたします。

予想外の結果となった米大統領選 - トランプ氏の政策には米国企業への恩恵が期待できる内容も

2016年11月8日(現地時間)に行なわれた米国の大統領選挙で、共和党のドナルド・トランプ氏が次期大統領に選出されました。金融市場では接戦ながら民主党のクリントン候補が有利と見られていたことから、予想外の結果として受け止められ、11月9日のアジア市場では急激な円高、日本株安が進みました。しかし、欧米の取引時間には株式市場は落ち着きを取り戻し、為替市場においても対米ドルで円安が進みました。

過激な発言が注目されてきたトランプ氏が当選したことで、当初は政策運営に対する懸念が強まりました。しかし、選挙後のトランプ氏の発言などから現実的な政治運営になるとの期待が高まり、金融市場では一旦安心感が広がりました。

また、同時に実施された米議会選挙では、共和党が上下院で過半数を維持しました。通常、大統領と議会多数派の党が同じ場合、政権運営はスムーズになると言われています。しかしながら、トランプ氏と議会共和党主流派との関係は良好とは言えないため、極端な政策は議会によって軌道修正されることが考えられます。一方、トランプ氏が提唱する高額所得者や法人に対する減税やインフラ投資への支出拡大などは、共和党主流派も支持できる内容であり、米国景気にプラスに働くと考えられます。

ファンドではグローバルに活躍する米国企業の組み入れが相対的に多く、このような企業はトランプ政権が推し進める法人減税や規制緩和などの恩恵が受けられる可能性があります。トランプ政権は米国景気の押し上げに注力すると見られ、そのこと自体も米国株式市場の追い風となることが考えられます。

組入上位10銘柄*

2016年10月31日現在

	銘柄	国・地域	業種	純資産比
1	マイクロソフト	米国	情報技術	3.7%
2	アルファベット	米国	情報技術	2.7%
3	ビザ	米国	情報技術	2.3%
4	KDDI	日本	電気通信サービス	2.3%
5	サービス・コーポレーション・インターナショナル	米国	一般消費財・サービス	1.7%
6	レイノルズ・アメリカン	米国	生活必需品	1.7%
7	SAP	ドイツ	情報技術	1.7%
8	ユナイテッドヘルス・グループ	米国	ヘルスケア	1.7%
9	S&Pグローバル	米国	金融	1.6%
10	プロクター・アンド・ギャンブル・カンパニー	米国	生活必需品	1.6%

※ファンドが投資対象とする外国投資信託「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢ-グローバル・ストック」の組入上位10銘柄です。
(注)国・地域は原則発行国・地域で区分しております。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますのでこの他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

ファンドの設定来の基準価額推移

ファンドの基準価額は、2016年11月16日現在、Aコース:10,196円、Bコース:9,037円、Cコース:10,209円、Dコース:9,033円となりました。

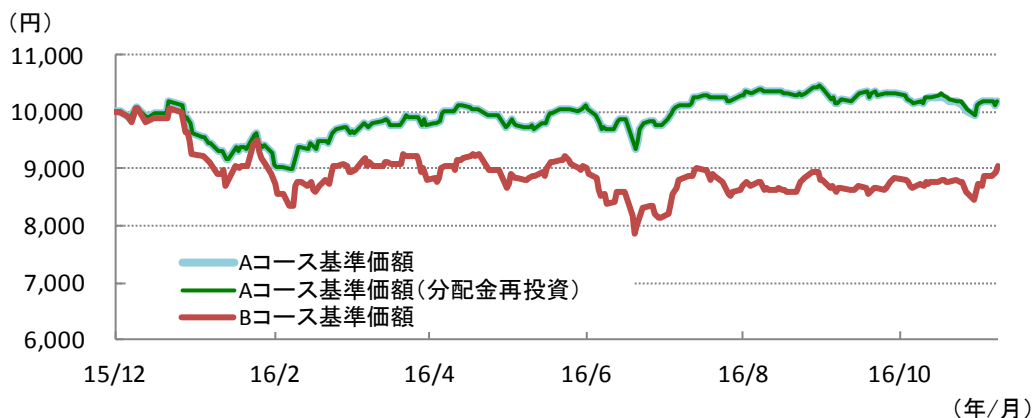
ファンドの基準価額は、2016年前半まで、世界経済の先行き不透明感などを背景に、軟調な展開となりました。2016年6月には英国の国民投票でEU(欧州連合)離脱が選択されたことを受けて、投資家のリスク回避姿勢が広がったことなどから一時下落しました。その後は、好調な米企業決算の発表などを背景に、概ね堅調に推移しましたが、11月8日の米大統領選の前後に大きく変動しました。

Bコース/Dコース(為替ヘッジなし)については、米ドルやユーロに対して円高が進行したことにより、基準価額が下落しました。

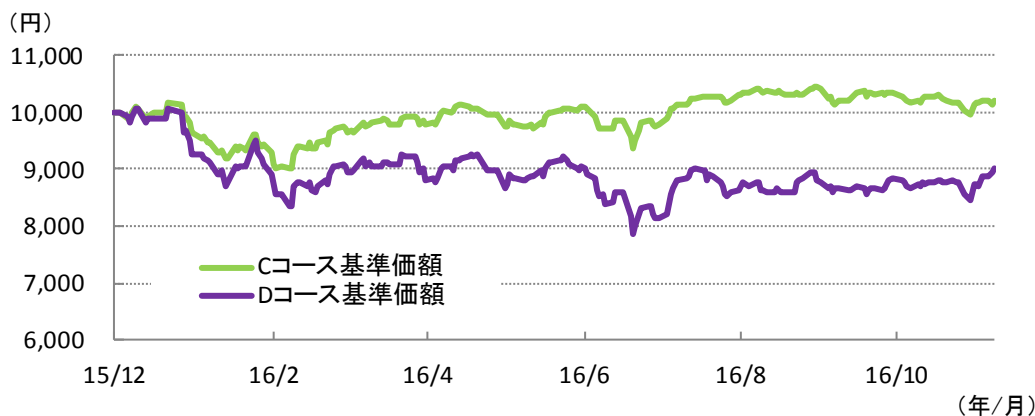
基準価額の推移

期間:2015年12月9日(設定日)~2016年11月16日、日次

年2回決算型



毎月分配型



- ・Bコース、Cコース、Dコースは上記期間において分配金実績はありません。
- ・基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。
- ・換金時の費用・税金等は考慮していません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますのでこの他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

各マネージャーが考える「市場見通しと運用方針」



アライアンス・バーンスタイン(AB)

トランプ氏の政策が明確になるにつれ、様々なプラス要素が出てくる可能性
引き続き、強固な経営や革新的な製品によって価値を創造している企業を選別

市場見通し

トランプ氏の掲げる政策のうち、成長重視路線や減税、海外からの資本還流を促す税制措置などはいずれも株式市場にとっては好材料です。また共和党が上院、下院の両院において多数を占めたことも、今後法案成立がより円滑に行なわれるという点でプラスに作用すると考えられます。

一方、反自由貿易主義的な通商政策は、現時点では大きく市場に影響していませんが、いずれ懸念を呼び起こす可能性があります。皮肉にも共和党が多数を占める議会が、トランプ氏が掲げる通商政策などの修正を余儀なくさせる可能性もあります。

今後しばらくは不透明感の高まりによって市場変動性が上昇する可能性があります。トランプ氏の政策がより明確になってくれば、様々なプラス要素が出てくることも考えられます。米国金利の上昇や米ドル高の進展が企業収益を圧迫するリスクとして浮上していますが、ABでは、各国の中央銀行は緩和的な政策を維持し、世界的に緩やかな経済成長と企業収益の拡大が継続することを引き続き基本シナリオとしています。

運用方針

引き続き、強固な経営や革新的な製品によって価値を創造している企業の株式を組み入れています。市場の変動は、そうした銘柄をより割安に買う機会を提供してくれます。市場が不安定になっても、投資先に選ぶ企業は逆風に対する抵抗力があると考えています。

引き続き、不透明な市場環境における保有銘柄の動向をきめ細かく注視し、状況変化があった場合には適切に対応する方針です。また、市場の過剰反応によって生じた新たな投資機会も、積極的に発掘していきます。

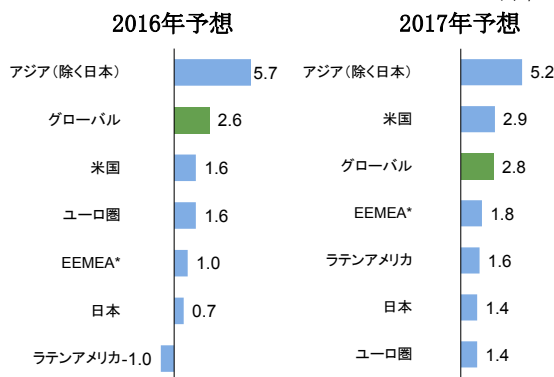
注目銘柄の一つに、最近保有ウェイトを高めている米国のサービス・コーポレーション・インターナショナルという企業があります。主に米国で葬儀サービスや墓地を運営する企業で、1)ベビーブーマーの高齢化などに伴い、市場拡大が予想される、2)中小零細企業が多い業界において、買収を重ねることで事業拡大を進めており、シェア拡大による成長余地が大きい、3)コミュニティとの繋がりがが必要な事業のため参入障壁が高く、利益率は安定的で潤沢にキャッシュフローを生む事業モデルがある、などの理由から投資機会があると考えています。

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。上記はあくまでも参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。上記の【銘柄例】で示した銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますのでこの他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

<世界の実質GDP(国内総生産)成長率予想>

(単位%)



過去の分析と現在の予想は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。予想は今後変更される可能性があります。

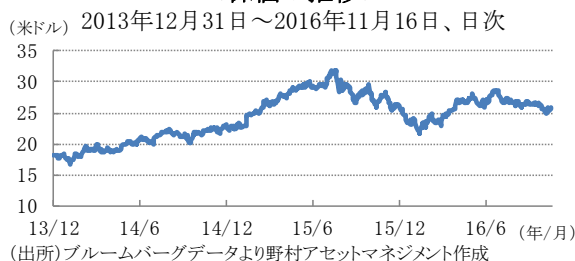
2016年11月3日現在、AB予想

*東欧、中東、アフリカ

(出所) AB作成

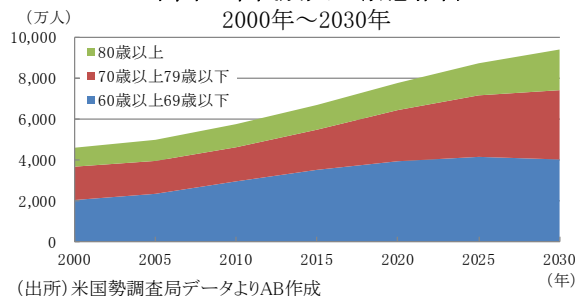
【銘柄例】 サービス・コーポレーション・インターナショナル

<株価の推移>



<米国の年代別人口動態推計>

2000年～2030年



各マネージャーが考える「市場見通しと運用方針」



フィデリティ・インターナショナル

米大統領選という不透明要因が払拭され、
世界景況の好転が評価される局面へ
運用のキーワードは「チェンジ」「バリュー」「フランチャイズ」

市場見通し

米国の大統領選挙でドナルド・トランプ氏が勝利したことから、金融市場では米ドルと米国金利の動きが注目されています。トランプ氏の掲げる財政支出の拡大及び保護主義的な政策は、インフレ率上昇をもたらす可能性があり、これに伴い長期金利が上昇すれば、株式市場へ影響することが考えられます。しかし、株式市場を取り巻く現状を鑑みると、大幅下落となる可能性は低いと考えています。

また、財政支出の拡大は、短中期的には景気敏感な銘柄やバリュー（割安）銘柄にとって好材料となります。インフラ投資の拡大、法人税率の引き下げなどは一部建設資材関連企業や一部大手IT企業にとって追い風となるでしょう。一方、ヘルスケア、金融などのセクターには懸念される点もあります。

世界景況に目を向けると、景気回復の波が米国から世界全体へ広がりを見せています。米国の大統領選挙という不透明要因が払拭され、2016年12月に予想される米国の利上げは既に市場に織り込まれていることから、金融市場は世界景況の好転を素直に評価できる局面に入りつつあると考えられます。

運用方針

全ての銘柄を「チェンジ」「バリュー」「フランチャイズ」の3つの枠組みで把握しています。

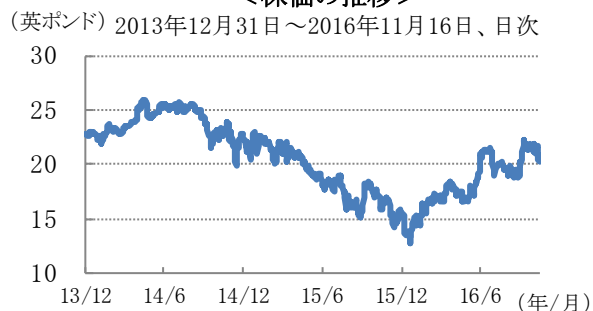
「チェンジ」は大きな構造改革が進展しつつあり、株価が再評価される可能性のある企業です。例としてはロイヤル・ダッチ・シェルがあります。同業のBGグループの買収によるシナジー効果に着目しています。

「バリュー」は市場で過小評価されている企業のうち、将来収益力の回復が見込める企業です。例としてはシティグループがあります。非中核事業の切り離しによる自己資本比率、株主還元策の改善を背景とした株価再評価が期待されます。

「フランチャイズ」はしっかりとした事業内容とともに業界内で支配的な地位にあり、高いキャッシュフロー創出力を持つ企業です。例としてはアルファベットがあります。インターネット事業を中核に、将来の成長を牽引する複数の事業オプションにも強みを持つ点に着目しています。

【銘柄例】ロイヤル・ダッチ・シェル

＜株価の推移＞



【銘柄例】シティグループ

＜株価の推移＞



【銘柄例】アルファベット

＜株価の推移＞



(出所)ブルームバーグデータより野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。上記はあくまでも参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。上記の【銘柄例】で示した銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますのでこの他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

各マネージャーが考える「市場見通しと運用方針」

LAZARD

ASSET MANAGEMENT

ラザード・アセット・マネージメント・グループ

金融市場における不確実性の高まりに備えつつ、
ボトムアップの銘柄選択による投資機会を追求

市場見通し

ドナルド・トランプ氏の米大統領選挙での勝利は、世界が政治的な大衆迎合主義やマクロ経済の不確実性をはらんだ新たな道に踏み出した第一歩なのかもしれません。今後は世界で政治イベントが相次ぐ予定で、2016年12月にイタリアで憲法改正の是非を問う国民投票が実施されるのを皮切りに、オランダの総選挙、英国のEU(欧州連合)離脱手続きの開始、フランスおよびドイツでも総選挙が予定されています。

金融政策に目を向けると、これまでの超低金利を含む世界的な緩和政策は資産価格を上昇させましたが、実体経済の成長には有効ではない可能性があります。同時に、危機時の金融政策に支えられた資産価格は、最終的に持続不可能な均衡状態にあり、市場にはリスクが潜んでいると考えています。

今後数ヵ月にわたり、潜在的な政治の不透明性や市場の脆弱性により変動性が高まる局面も予想される為、ポートフォリオは比較的保守的なポジションを維持しております。しかし、どのような相場環境にあってもボトムアップの銘柄選択による投資機会は存在すると考えます。

運用方針

「ラザード・グローバル・ストラテジック株式戦略」では企業の「稼ぐ力」ともいわれるROE(株主資本利益率)に着目した運用を行なっています。また、特にマクロ経済や政治に対する不透明性が高い相場環境においては、外部環境に依存しない個別企業や業界レベルでの構造的変化に注目しています。

例えば、米国ゲーム大手のアクティビジョン・ブリザードは、合併・買収を通じて数多くの優良ゲームを有しています。特にゲーム業界は構造的な変化の過程にあり、経済全般や政治の影響を比較的受けにくい成長機会があると考えています。

同社は、短期的なヒット作やゲーム機販売の影響を受けやすい体質でしたが、携帯端末などを通じたオンライン課金制による安定的な収益構造に変化しています。また、今後はユーザー数を強みにした広告収入も期待されます。

■ボトムアップにより企業価値に着目した投資
「ラザード・グローバル・ストラテジック株式戦略」

ミスプライス
(適正価格からの乖離)

コンパウンダー
(高い財務生産性)

リストラクチャリング
(事業再構築による
収益改善)

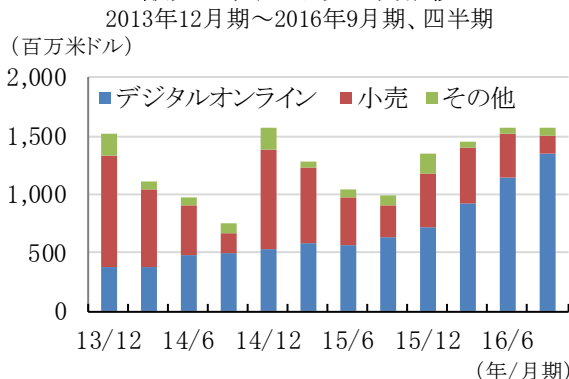
[銘柄例] アクティビジョン・ブリザード

< 株価の推移 >



(出所)ブルームバーグデータより野村アセットマネジメント作成

< 販売チャネル別売上高推移 >



(出所)会社発表資料よりラザード・アセット・マネージメント・グループ作成

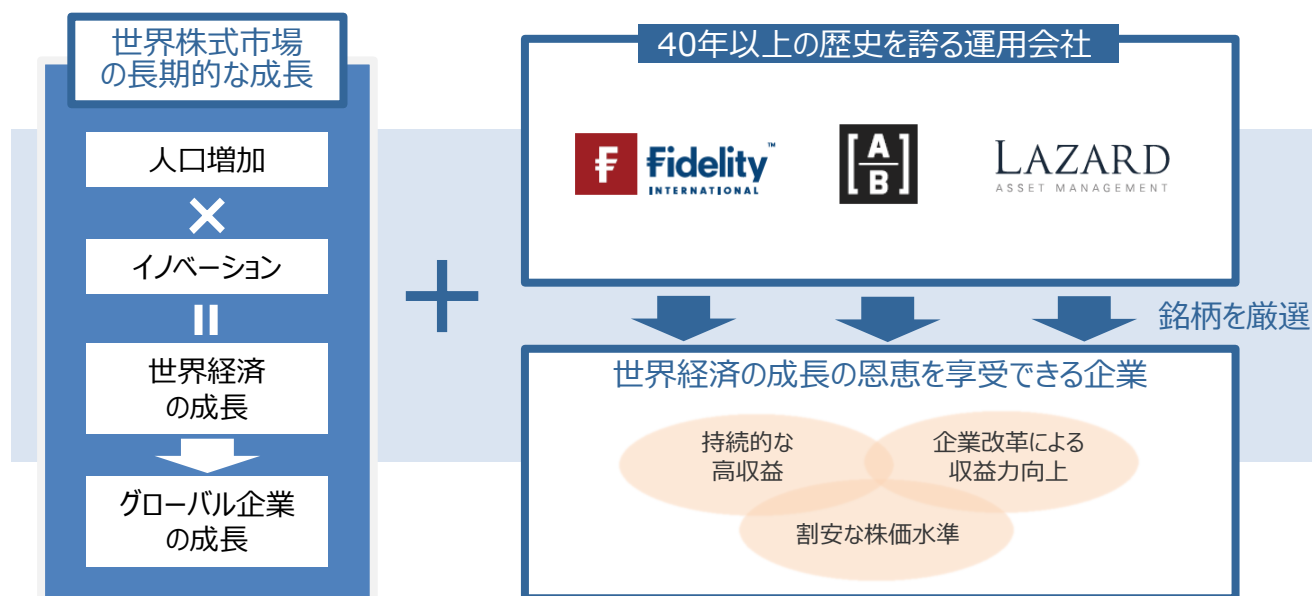
上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。上記はあくまでも参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。上記の[銘柄例]で示した銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますのでこの他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

(ご参考)ファンドのポイント

「グローバル・ストック 愛称:世界樹」は、

1. 人口増加やイノベーション(革新)による生産性向上を背景とした世界経済の成長に着目し、その恩恵が享受できる世界の株式市場に投資します。
2. 40年以上の長い歴史と優れた実績を誇る運用会社3社が、独自の運用手法で銘柄を発掘します。
3. 成長する世界経済において、「持続的な高収益」あるいは「企業改革による収益力向上」が期待できる企業、さらに「割安な株価水準」となっている企業などに注目して銘柄を厳選します。



(注1) 上記はファンドの運用におけるポイントの概要を説明したものであり、全てを網羅したものではありません。必ずしもあてはまらない場合があります。

(注2) 上記は、2016年10月31日現在の副投資顧問会社もしくはグループのロゴおよび名称などであり、投資顧問会社の投資判断その他の理由により、適宜増減および入替が行なわれる可能性があります。

今後とも「グローバル・ストック 愛称:世界樹」をご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

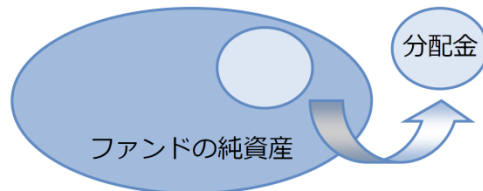
以上

資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますのでこの他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。

分配金に関する留意点

●分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。



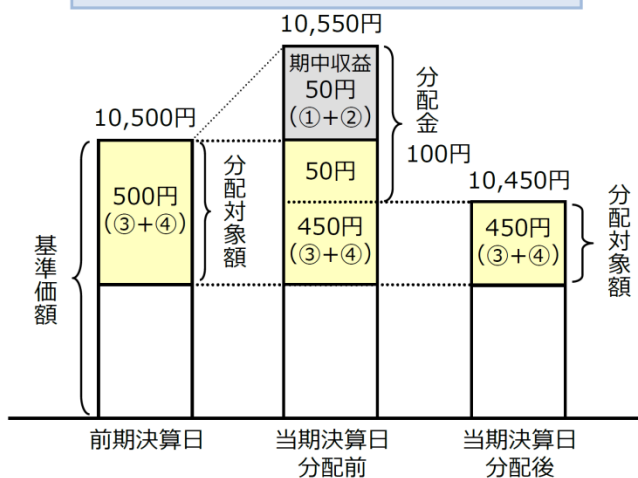
●ファンドは、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

・計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

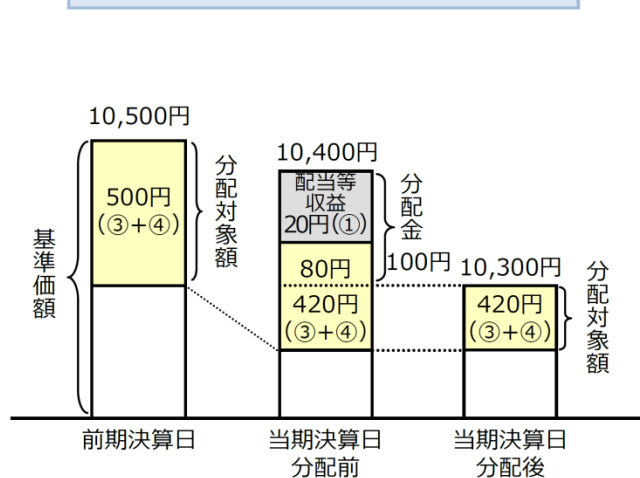
※分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

分配対象額とは、①経費控除後の配当等収益②経費控除後の評価益を含む売買益③分配準備積立金④収益調整金です。

前期決算から基準価額が上昇した場合

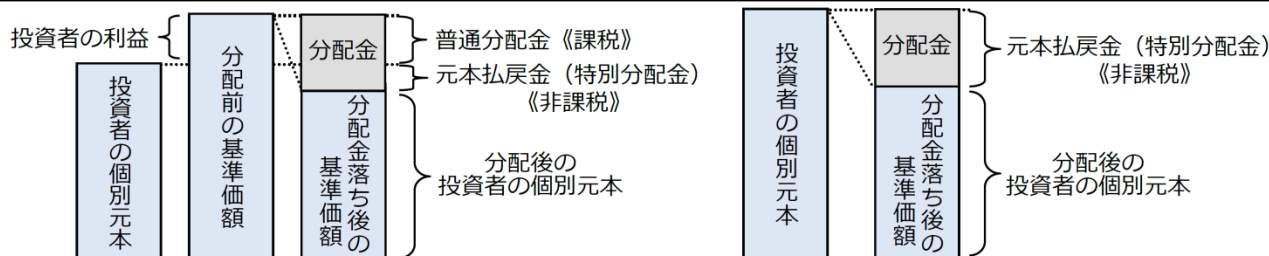


前期決算から基準価額が下落した場合



●投資者の個別元本（追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本）の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

- ◇普通分配金 … 分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本と同額の場合または投資者の個別元本を上回っている場合には分配金の全額が普通分配金となります。
- ◇元本払戻金（特別分配金） … 分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となります。



※投資者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、分配金発生時にその個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の投資者の個別元本となります。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額について示唆、保証するものではありません。

【ファンドの特色】

- 信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。
- 世界各国(新興国を含みます。)の株式(DR(預託証券)*1)を含みます。)を実質的な主要投資対象*2とします。
※1 Depository Receipt(預託証券)の略で、ある国の株式発行会社の株式を海外で流通させるために、その会社の株式を銀行などに預託し、その代替として海外で発行される証券をいいます。DRは、株式と同様に金融商品取引所などで取引されます。
 ※2「実質的な主要投資対象」とは、外国投資信託や「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- 「グローバル・ストック」は、分配頻度、投資する外国投資信託において為替ヘッジの有無の異なる4つのコース(Aコース、Bコース、Cコース、Dコース)から構成されています。

	為替ヘッジあり*	為替ヘッジなし
年2回分配	Aコース	Bコース
毎月分配	Cコース	Dコース

※実質組入外貨建資産について、一部の通貨においては、米ドル売り円買いの為替取引により、対円での為替ヘッジ効果を狙います。

- 各々以下の円建ての外国投資信託「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢーグローバル・ストック」および国内投資信託「野村マネー マザーファンド」を投資対象とします。

ファンド	投資対象
Aコース	(外国投資信託)ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢーグローバル・ストックークラスA
Cコース	(国内投資信託)野村マネー マザーファンド
Bコース	(外国投資信託)ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢーグローバル・ストックークラスB
Dコース	(国内投資信託)野村マネー マザーファンド

- 通常の状態においては、「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢーグローバル・ストック」への投資を中心とします*が、投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定します。
※通常の状態においては、「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢーグローバル・ストック」への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。

■外国投資信託「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢーグローバル・ストックークラスA/クラスB」の主な投資方針について■

- ・世界各国(新興国を含みます。)の株式(DR(預託証券)を含みます。)を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。
- ・クラスAについては、組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジ(一部の通貨においては、米ドル売り円買いの為替取引)により為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。
- ・クラスBについては、組入外貨建資産について原則として為替ヘッジを行いません。

- ・投資顧問会社が、世界各国の株式の運用を行なう副投資顧問会社の選定と、各副投資顧問会社が運用する信託財産の配分比率を決定します。
- ・副投資顧問会社の選定にあたっては、運用体制や運用プロセスなどに対する独自の定性評価を重視し、世界各国の株式の運用において優れていると判断した運用会社を選定します。
- ・投資顧問会社は選定した副投資顧問会社およびファンド全体のリスク特性の状況を絶えずモニターし、必要に応じて各副投資顧問会社が運用する信託財産の配分比率の変更や副投資顧問会社の入替を適宜行ないます。
* 投資顧問会社は、副投資顧問会社の選定および信託財産の配分比率決定にあたり、野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー株式会社より助言を受けます。

名称	
	AllianceBernstein L.P.
	FIL Investments International
	Lazard Asset Management Limited

・出所: 投資顧問会社(野村アセットマネジメント)作成
 ・上記の各副投資顧問会社は、平成28年10月31日現在のものであり、投資顧問会社の投資判断その他の理由により、適宜増減および入替が行なわれる可能性があります。

- ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。
- 「Aコース」「Bコース」間および「Cコース」「Dコース」間でスイッチングができます。

【ファンドの特色】

●分配の方針

◆Aコース、Bコース

原則、毎年3月および9月の27日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。分配金額は、分配対象額の範囲内で、基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。

◆Cコース、Dコース

原則、毎月27日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。分配金額は、分配対象額の範囲内で、配当等収益等の水準及び基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。なお、決算期末の前営業日の基準価額(1万円あたり)を支払済みの分配金累計額は加算しません。)が11,000円以上の場合、分配対象額の範囲内で、別に定める金額の分配(注)を行なうことを目指します。

(注)決算期末の前営業日の基準価額に応じて、下記の金額の分配を行なうことを目指します。

決算期末の前営業日の基準価額	分配金額(1万円あたり、課税前)
11,000円未満	配当等収益等の水準及び基準価額水準等を勘案して決定します。
11,000円以上12,000円未満	200円
12,000円以上13,000円未満	300円
13,000円以上14,000円未満	400円
14,000円以上	500円

* 基準価額に応じて、分配金額は変動します。基準価額が上記表に記載された基準価額水準に一度でも到達すれば、その水準に応じた分配を継続するというものではありません。

* 分配金を支払うことにより基準価額は下落します。このため、基準価額に影響を与え、次期以降の分配金額は変動する場合があります。

また、あらかじめ一定の分配金額を保証するものではありません。

* 決算期末にかけて基準価額が急激に変動した場合等には、委託会社の判断で上記表とは異なる分配金額となる場合や分配金が支払われない場合があります。

* 上記表に記載された基準価額および分配金額は、将来の運用の成果を保証または示唆するものではありません。

* 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

【投資リスク】

各ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、株式等に実質的に投資する効果を有しますので、当該株式の価格下落や、当該株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じる場合があります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※ファンドの基準価額の変動要因には、この他にも債券価格変動リスクなどがあります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 平成38年3月27日まで(平成27年12月9日設定)
- 決算日および収益分配 「Aコース」「Bコース」: 年2回の決算時(原則、3月および9月の27日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。「Cコース」「Dコース」: 年12回の決算時(原則、毎月27日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 1万円以上100単位(当初元本100=1円)または1万円以上1円単位(ご購入コースには、分配金を受取る一般コースと、分配金が再投資される自動けいぞく投資コースがあります。原則、ご購入後にご購入コースの変更はできません。)
- ご換金価額 ※お取扱いコース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- スイッチング 「Aコース」「Bコース」間および「Cコース」「Dコース」間でスイッチングが可能です。
- お申込不可日 ※販売会社によっては、一部または全部のスイッチングのお取扱いを行わない場合があります。販売会社の営業日であっても、申込日当日が、下記のいずれかの休業日に該当する場合または12月24日である場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。
- 課税関係 ・ニューヨーク証券取引所 ・ニューヨークの銀行 ・ロンドン証券取引所 ・ロンドンの銀行 ・ルクセンブルクの銀行 個人の場合、原則として分配時の普通分金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

(2016年11月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.24%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.08%(税抜年1.00%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 ○実質的にご負担いただく信託報酬率(注) 年1.98%程度(税込) (注)ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。
◆その他の費用・手数料	組入価額証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができます。
◆信託財産留保額(ご換金時、スイッチングを含む)	1万円につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様はファンドを保有される期間等にに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

◆お申込みは

野村証券

商号:野村証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号
加入協会:日本証券業協会/一般社団法人日本投資顧問業協会/
一般社団法人金融先物取引業協会/
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

◆設定・運用は

野村アセットマネジメント

商号:野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会:一般社団法人投資信託協会/
一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますのでこの他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。